

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2325 号

A Heated tobacco product ‘IQOS’ exposure enhances apoptosis and emphysema in mice lungs

加熱式タバコの‘IQOS’はマウス肺におけるアポトーシスと肺気腫を増強する

新田 直子 (にった なおこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、加熱式タバコの IQOS 長期曝露によって肺気腫が生じ、その機序としてアポトーシスが関与していることを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。長期間のタバコ煙曝露によって生じる慢性閉塞性肺疾患 (Chronic obstructive pulmonary disease; COPD) は世界の死因第 3 位となり、可及的速やかな対策が必要な疾患である。たばこ産業は従来のタバコよりも害が少ないとされる新型タバコを発売してきたが、その中でも加熱式タバコの IQOS は若年者を中心に、日本を始めとして各国に広がりつつある。喫煙者は少しでも有害物質への曝露を減らすために従来のタバコから加熱式タバコに切り替えたり、害の少ないタバコとして加熱式タバコの喫煙を開始するが、長期的な喫煙の影響は未知であった。本論文により、加熱式タバコは含有する有害物質が従来のタバコよりも少なくとも同等の肺気腫を来し、そのメカニズムはタバコとは異なる可能性が示唆された。従って本論文は、加熱式タバコが従来のタバコよりも害が少ないと結論付けることはできない根拠となる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。